

# 横浜訓盲学院だより

第6号 (平成18年3月号)

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181

事務部 TEL 045(641)2626 FAX 045(641)2627

普通部 TEL, FAX 045(662)1710 Email:kunmou-fu@nifty.com

理療科 TEL, FAX 045(662)1833 Email:kunmou-ri@nifty.com

URL:<http://homepage3.nifty.com/kunmou/>

平成18年2月17日発行

学院長 <sup>はなわ</sup> 埴 <sup>ただし</sup> 忠蔵

## 支援教育と今後の学院の取り組み

<sup>はなわ</sup> <sup>ただし</sup>  
学院長 埴 忠蔵

「特別支援教育を推進するための在り方について」の答申が中央教育審議会から出されました。その答申の中に、盲・ろう・養護学校の見直しについては、障害種別を超えた学校制度「特別支援学校（仮称）」に転換していくことが可能であること。また、特別支援教育のセンターとしての機能を担うことであると述べられています。

訓盲学院も時の流れの中で特別支援学校として取り組まなければならない時がくることは確実であると思いますが、現状を踏まえると今まで培って来た重度重複障害児の教育を継続して取り組んでいくことが訓盲学院の教育の特色であり私学でなければ出来ない教育であると思います。

もう一つの大事な特別支援学校として

の役割は、特別支援教育センターとしての機能を担うこととあります。訓盲学院としては、支援教育に取り組む時に地域のセンター的機能を果たしていくためにはどうするか、を前提として、支援部・教育相談（訪問）部・弱視教育部・盲ろう教育部を設け、支援を必要とする方々へ専門的知識・技術を試行錯誤しながら取り組んで来ました。今後も訓盲学院としての支援教育を推し進め、視覚障害教育で培ってきた資源を地域の学校や地域の方々に活用していただけるよう積極的に働きかけ地域社会に還元して行けるよう努力していきたいと思っております。

今後とも皆様方のご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。



### ★3月の聖句★

「わたしは世の終わりまで  
いつもあなたがたと共にいる」

(マタイによる福音書28章20節)

イエス様が弟子たちに伝えた最後の言葉です。

イエス様は今も生きて私たちと共にいます。

私たちは一人ぼっちではありません。

忘れないで下さい。

## ■総合防災訓練

11月30日（水）の午後、総合防災訓練を行いました。

訓盲院（盲児施設）で火災が発生し、施設内に逃げ遅れた生徒がいるという想定で、消防署への連絡、避難、地域の人による救助、自衛消防隊の初期消火、消防車による放水、という内容でしたが、本番さながらの迫力ある訓練となりました。

参加者は山元町消防署員、消防団（山手第3分団）、地域の人、横浜訓盲院・訓盲学院の生徒・職員総勢140名でした。

今回は初めての試みとして、煙幕体験用テントによる煙体験が行われました。スモークマシーンで煙を充満させたテントの中を歩くというものでしたが、煙によって視界がなくなり、方向がわからなくなってしまふ怖さが、実感できたのではなかったかと思います。



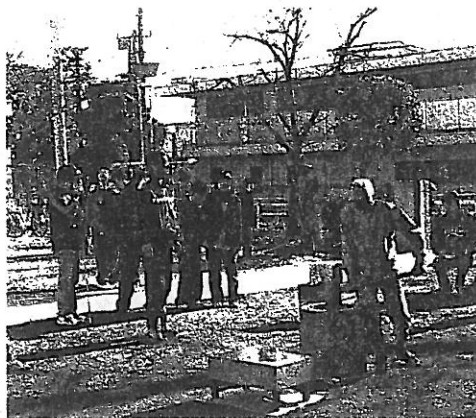
## ■学校開放「お餅つき」

学校開放は、毎年多くの方にご参加頂いていますが、今年の1月に催した「おもちつき」では、総勢142名という本当に多くの方々にお出いただきました。



好天にも恵まれ、地域からは「もちつきのプロ（もちプロ）」の方がおいで下さったりと、楽しくふれあいを持つ機会が持てました。学校開放を通じて今後も少しずつみなさんと交流していくことができたらいいなと、心から思っています。

今後も横浜訓盲学院の学校開放にご期待下さい！



## 視覚障害ミニ知識 「点字の数字」

普段よく利用しているエレベーター。音声案内や点字表示は当たり前になってきました。今回は点字の数字についてお話ししましょう。実は、「あいう」に数を表す記号  $\ddot{\text{::}}$ （数符）をつけると、「123」と変化するんです。50音の「あ行」と「ら行」を使うんですが、下のようにバラバラに並んでいます。点字は、もともと欧米でつくられたから、日本でもそのルールを使っているんですね。

さあ下の点字を参考にして、右のエレベーターの押しボタンを完成させましょう。

$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$
あ	い	う	え	お	ら	り	る	れ	ろ	
$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$	$\ddot{\text{::}}$
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	

上へ参り  
ま〜す

開け 閉め

$\ddot{\text{::}}$   $\ddot{\text{::}}$

屋上

$\square$   $\ddot{\text{::}}$

$\square$   $\ddot{\text{::}}$

$\square$   $\ddot{\text{::}}$

$\square$   $\ddot{\text{::}}$

$\square$   $\ddot{\text{::}}$

地下

\*\*\*\*\* クリスマス礼拝・祝会 \*\*\*\*\*

12月22日(木)にクリスマス祝会が行なわれました。

普通部では、イエス様の誕生をお祝いする劇(ページェント)や各グループごとに考えたオリジナルの作品を発表しました。毎日少しずつ劇や合奏の練習を重ね、いざ本番! 緊張しているのは先生達だけ...(笑)子ども達は大物俳優! 味のある素晴らしい演技や合奏を発表してくれました。

また、保健理療科1,2年生によるハンドベルの演奏では、音楽の授業や放課後に一生懸命練習した成果が見事発揮され、みんなで心を合わせ素敵なハーモニーが響き渡りました。ハンドベルの演奏に合わせて客席からも歌声が聞こえ、会場中が一つになり楽しい時間が流れました。

会場に来られた保護者の方や、地域の方々からとても温かなたくさんの拍手を頂くことが出来ました。 どうもありがとうございました。



■18年度の学校開放予定

- 6月 健康講座
- 7月 陶芸教室
- 9月 移動動物園
- 10月 音楽会「ハンドベル」
- 1月 お餅つき

詳しくはホームページや学校掲示板などでご案内します。どうぞご期待下さい。

■PTAバザーのお礼

昨年11月19日(土)、好天に恵まれ盛況のうちに無事PTAバザーを開催する事ができました。当日は近隣の皆様をはじめ、多くの方々にご来場いただき、会場は終始活気にあふれていました。

生徒作品、クイックマッサージ、フリーマーケットなど各コーナーも好評で、担当する生徒、職員や販売員の掛け声にも力が入っていました。バザーの収益は学院の教育活動に有意義に利用させていただきます。暖かいご協力をどうもありがとうございました。

■ご寄付のお礼

17年10月~18年2月にかけて下記の方々よりご寄付をいただきました。ここに報告させていただきますとともに心よりお礼申し上げます。

- ・横浜関内ライオンズクラブ 様
- ・横浜三育幼稚園 様
- ・桜ヶ丘幼稚園 様
- ・平和眼科 富田 香 様
- ・(株)キングジム 様
- ・四つ葉会 様 ・岩崎みどり 様
- ・横浜訓盲学院卒業生保護者の会 様

\*\*\*\*\* 平成18年度生徒募集 \*\*\*\*\*

○募集定員(各部若干名)

- ・幼稚部 ・小学部 ・中学部 ・高等部普通科
- ・本科保健理療科 ・専攻科理療科

○募集期間

- ・普通科 二次募集 2月20日~3月8日
- ・理療科 随時募集 3月20日まで

○お問い合わせ

- ・普通部(幼・小・中・高普)  
電話045-662-1710
- ・理療科(本科保健理療科・専攻科理療科)  
電話045-662-1833

3月16日(木) 平成17年度卒業式・修了式

4月7日(金) 平成18年度入学式・始業式

平成17年度の院内臨床実習は終了致しました。ご協力ありがとうございました。

## ■平成18年度

### 院内臨床実習のご案内

理療科では生徒が主体となり、マッサージやはり灸の臨床実習（治療）がおこなわれています。おかげさまで平成17年度も、のべ500人超の方々にご協力とご理解をいただき、実習をすることができました。ありがとうございました。なお、平成18年4月からの予定は、学院掲示板やホームページ等でお知らせ致します。

※この実習は生徒主体の治療ですので、当日の出席状況等により予約をお受けできない場合もあります。予めご了承下さい。

ご予約はお電話で！

（当日の朝 8:45～9:10）

電話：090-9009-5882

料金：1,000円（一律）

## ■平成17年度

### 院外臨床実習のご案内

院外臨床実習とは、学校臨床室以外の場所で生徒たちがおこなう実習です。

日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、学院周辺の町内会館にて、マッサージなど行なっています。是非ご利用下さい。

~~~~~  
3月7日（火）豆口台上町内会館

8日（水）柏葉町内会館

9日（木）麦田地域ケアプラザ

10日（金）大和町立野町内会館

13日（月）鷺山竹之丸町内会館

~~~~~  
時間：9時～12時 料金：無料  
~~~~~

＜お問い合わせ＞

横浜訓盲学院理療科

045-662-1833

## 理療科ミニコラム

# 思うツボ



皆さんの中には眼の色々な症状でお困りの方がおいでのことと思います。眼の芯が痛い・目が疲れる・ショボショボするなんて言うときに、ご自宅で応急手当てするツボをお教えしましょう。

東洋医学では自然界を、木・火・土・金・水の5要素に分類しています。そして各臓器をこの5要素に配分しているのです。木には、肝・胆という臓腑が所属し、それらは眼を調整する機能を持っているとしています。

足の親指と人差し指の股から少し上に、太衝たいしやうという肝経かんけいのツボがあります。また、小指と薬指の股から少し上に地五会ちごえという胆経たんけいのツボがあります。そして外くるぶしの斜め前に、押すと窪んで感じる部分があります。胆経かんけいの丘墟きゆうきよと言うツボです。これらのツボをご家族の方に押しってもらって下さい（自分で押しでもつまらないから）。結構眼が楽になりますよ。また、足の人差し指と中指の股から少し上にも、眼の芯が痛むときに良く効く、陷谷かんこくというツボがありますのでお試し下さい。皆様のご健康を願いつつ。（宏）